

あおぎり

6月26日(水)～7月10日(水)しあわせ旬間

お互いのよさを認め合い、尊重し合いながら、あらゆる人権問題を解決していく態度や力を身につける旬間、「しあわせ旬間」を10日(水)まで行います。

旬間中は、各学級での人権同和教育授業や人権目標決め、なかよし委員会の発表、なかよし集会、名前を呼んでのあいさつ、姉妹学級交流、姉妹学級清掃など、たくさんの活動を行いました。

全校をあげて取り組んでいる結果、人権感覚を高めることができています。「名前を読んであいさつをしよう」の取り組みで、あいさつもよくなっています。

この旬間中に培った力を今後の生活の中に生かして、クラスや学校の人たちと、認め合い、尊重し合える人間関係を築いて、いまよりもっと仲良しの森上小学校にしていってほしいと思います。



姉妹清掃
お兄さんお姉さんと一緒に清掃

7月2日(火)校長講話

朝、昇降口であいさつをしていると、「校長先生、2日間どこにいらっしゃいましたか」と声をかけてくれる人がいました。とても嬉しく思いました。

校長先生は会議で、山梨県の甲府市に行っていました。山梨県は「梨」と「ぶどう」の産地です。回りを山に囲まれている県です。

さて、校長先生は、甲府駅でこんな場面に出会いました。70歳くらいの女性が、階段を前にして、紙袋と少し大きめのカバンをおろして休んでいました。

この姿を見て、校長先生は、「困っているようなので、この人のカバンを持ってあげよう」と思い、そばに行きました。そして、「カバンをお持ちします」と声をかけ、かばんを持って上がりました。「ご親切に、ありがとうございました。」と言われ、改札口の方へ歩いて行かれました。

「思いやり」という言葉があります。どういう意味で、どういう行動をすることでしょうか。

「思いやり」という言葉からは、相手の立場や気持ちに同情して親切にすること、困っている人を助けること、相手の相談に乗ること、譲ってあげることなど、いろいろな行動が思い浮かんできます。

このどれもが、「相手のことを思っている」という共通点があります。

「思いやり」とは、自分が相手に親切にしようとする心だけでなく、「相手は何を求めているか」を、相手の心と頭になって考え、その人が望んでいるように行動する

ことです。

はじめの話にもどります。この70歳の女性と別れた後に、「ふっ」と考えたことがあります。それは、「本当に、荷物を持ってあげたことがよかったのだろうか。この方は、本当は自分で持って上がろうとしていたのではないか」ということです。この方の気持ちをよく考えたり、確かめたりする意味で、「大丈夫ですか。お荷物をお持ちしますか」と尋ねてから、行動すればよかったなと思いました。

校長先生が出会った方のように重い荷物を持って困っているご老人がいたとします。あるいは、赤ちゃんを連れているお母さんがいます。目の不自由な人が横断歩道を渡ろうとしています。そんなとき、皆さんならどうしますか。

私たちは、いろんな所で、さまざまな人と出会います。その人ができること、その人ががんばっていることは見守ってあげることが大切です。

もし、その人が本当に手助けを求めている、または手助けをしてほしいと思っているとしたら、助けてあげることです。それが、「思いやり」のある行動です。

思いやりの心と思いやりの行動は、人間どうしを仲よしにする働きがあります。学級でも、お家でも、どこでも、思いやりの心で見つめ、思いやりのある行動をしてほしいと思います。

ここにいる皆さんの力で、この森上小学校を、もっともっと仲良しの学校にしてほしいと思います。

7月3日プール開き

7月3日（水）朝の時間にプール開きを行いました。運動会を6月に実施した関係で、昨年度より20日遅いプール開きとなりました。9月初めまで水泳学習ができるようになりました。

各学級の代表児童が今年の決意を述べてくれました。先生の指導と水泳の決まりを守って、各自が目標を達成することです。大いに水泳を楽しんで、体力と技能を向上させてください。保護者の皆様には、水泳期間中のお子さんの健康管理や体調管理、水着の洗濯等していただくわけですが、よろしくお願いします。



心待ちにしていたプール開き

6年生、須坂園芸高校生と交流学習

7月2日（火）午後、6年生は園芸高校へ出かけ、園芸高校生と一緒に玉ねぎの収穫を行いました。この玉ねぎは、5年生の秋に植えたものです。園芸高校生が、心をこめて育ててくれました。

暑い中での収穫でしたが、がんばってすべての玉ねぎを取ることができました。とてもいい体験学習と交流学習をすることができました。



玉ねぎの収穫